

# ゆめはらだ

令和元年 10月 17日

## 後期がスタートしました

前期の103日間を終了し、10月15日（火）から後期がスタートしました。登校日数は102日です。最終日は原田っ子6年生の晴れの舞台であり、原田小を力強く羽ばたく3月19日（木）の卒業証書授与式となります。

始業式の式辞では、私から原田っ子にスライドを見せながら、第3ステージ「とことん」、第4ステージ「たからもの」についてお話をしました。

この「とことん」、「たからもの」の最近の顕著な成功例として、先日、リチウムイオン電池の開発でノーベル化学賞を受賞されました吉野彰教授

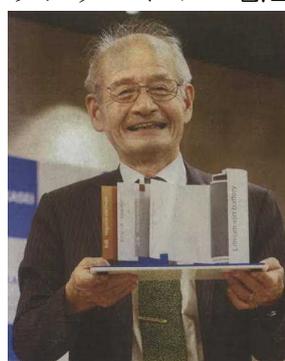


5歳の吉野彰 少年

（名城大学大学院）の幼少から今日にいたるまでのエピソードや御功績を紹介しました。

その詳しい内容はeじゃん掛川 原田小の10月16日（水）の記事から、YouTube（ユーチューブ）に限定公開でアクセスできますので、興味のある方は御覧ください。

また、「たからものスピーチ」では、原田っ子の各学年の代表者が後期にがんばる決意を具体的に述べました。それらについても同様にアップさせていただきました。ぜひ、御覧いただきたいと思います。



リチウムイオン電池を手に

### ロウソクの科学



運命を変えた本

## 「ほめ写」は自己肯定感を育む

私は昇降口のテレビ画面に映し出されるスライドショーの画像を週に何度か更新しています。また、原田小の日々の教育活動を「eじゃん掛川 原田小」を通じて広く配信しています。

これらは、原田っ子の活躍を称揚するとともに、「ほめ写」（写真を用いてほめる）を活用して原田っ子一人ひとりの自己肯定感や積極性を育む目的で行っています。また、これからの社会をよりよく生きるためには、IT（インターネット



eじゃん掛川 原田小

などの通信とコンピュータを駆使する情報技術）の活用能力は必要不可欠と言っても過言はないと思いい活用例を提示しています。

後期は、より情報量の多い動画配信にも力を入れながら、原田っ子のよりよい成長のために邁進していく所存です。今後ともよろしくお願いたします。

【参考】・ほめ写プロジェクト



昇降口にあるテレビ画面「ほめ写」

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000001.000037115.html>

「eじゃん掛川 原田小」 [https://e-jan.kakegawa-net.jp/community/?bbs\\_id=186823](https://e-jan.kakegawa-net.jp/community/?bbs_id=186823)

（原田小HP） 学校だよりの記事をはじめ原田っ子の日々の生活がHPには掲載されています。

お茶の間の団らんや地域の話、さらには原田っ子の自己肯定感の育成のために御活用ください。  
（校長 山田 正彦）



